

## 1. 県土整備プランの指標進捗の評価区分について

動向の区分	説明
達成 ◎	平成30年度末時点の目標値を達成し、順調に進捗している指標
前進 ○	平成30年度末時点の目標値を概ね達成している指標
遅延 ▲	平成30年度末時点の目標値に対して、10%以上の遅れが生じている指標

## 2. 県土整備プランの指標の進捗状況について

達成 ◎		前進 ○		遅延 ▲		未確認 -		合計	
項目数	割合	項目数	割合	項目数	割合	項目数	割合	項目数	割合
28	70.0%	3	7.5%	6	15.0%	3	7.5%	40	100.0%

## 3. 「はばたけ群馬・県土整備プラン2018-2027」の40の指標の進捗状況（平成30年度末時点）

番号	基本目標1 元気の指標	初期値	現状値 (最新値)	左記の 目標値	評価	目標値	備考
1	「7つの交通軸」の整備率	44% (H28年度末)	51% (H30年度末)	50% (H30年度末)	◎	100% (R9年度末)	
2	主要渋滞箇所の対策率	22% (H28年度末)	29% (H30年度末)	29% (H30年度末)	◎	48% (R9年度末)	「基本目標：環境」の指標で重複
3	インターチェンジから15分圏域の県人口	164万人 (H28年度末)	165万人 (H30年度末)	165万人 (H30年度末)	◎	173万人 (R9年度末)	
番号	基本目標2 安全の指標	初期値	現状値 (最新値)	左記の 目標値	評価	目標値	備考
4	河川整備計画に基づく河川整備延長	24.8Km (H28年度末)	34.7Km (H30年度末)	32.2Km (H30年度末)	◎	64.1Km (R9年度末)	
5	土砂災害対策推進計画に基づく要対策箇所の整備率	0% (H29年度末)	2% (H30年度末)	1% (H30年度末)	◎	73% (R9年度末)	
6	水害による被害が軽減される家屋数	4757戸 (H28年度末)	8727戸 (H30年度末)	8727戸 (H30年度末)	◎	15806戸 (R9年度末)	
7	土砂災害による被害が軽減される要配慮者利用施設数	0施設 (H29年度末)	2施設 (H30年度末)	1施設 (H30年度末)	◎	36施設 (R9年度末)	
8	緊急輸送道路の落石等危険箇所対策率	70% (H29年度末)	75% (H30年度末)	73% (H30年度末)	◎	100% (R9年度末)	
9	緊急輸送道路の電線共同溝による無電柱化整備延長	32.7Km (H29年度末)	33.2Km (H30年度末)	33.2Km (H30年度末)	◎	46.4Km (R9年度末)	
10	土地区画整理完了率	82.2% (H28年度末)	82.8% (H30年度末)	82.4% (H30年度末)	◎	86.1% (R4年度末)	「基本目標：魅力」の指標で重複
11	被災建築物応急危険度判定士数	1885人 (H28年度末)	2006人 (H30年度末)	1920人 (H30年度末)	◎	2000人 (R2年度末)	
12	住宅の耐震化率	81.6% (H28年度末)	83.4% (H30年度末)	88.3% (H30年度末)	○	95% (H32年度末)	
13	多数の者が利用する建築物の耐震化率	85% (H28年度末)	86.2% (H29年度末)	- (H29年度末)	-	95% (R2年度末)	H29の目標値がないため評価なし
14	通学路の歩道整備率	84.2% (H28年度末)	85.1% (H30年度末)	84.6% (H30年度末)	◎	100% (R9年度末)	
15	自転車通行空間指定路線の整備率	22% (H28年度末)	72% (H30年度末)	62% (H30年度末)	◎	100% (R4年度末)	「基本目標：魅力・環境」の指標で重複
16	事故危険区間の対策率	0% (H29年度末)	66% (H30年度末)	46% (H30年度末)	◎	100% (R2年度末)	
17	交通事故死者数	67人 (H29年)	64人 (H30年)	57人 (H30年)	▲	51人 (R2年)	
18	1日当たり乗降客数3,000人以上の鉄道駅のバリアフリー化率	65% (H28年度末)	70% (H30年度末)	70% (H30年度末)	◎	100% (R9年度末)	
19	乗合バスのノンステップバス導入率	56% (H28年度末)	62% (H29年度末)	- (H29年度末)	-	70% (R2年度末)	H29の目標値がないため評価なし
20	1日当たり乗降客数3,000人以上の鉄道駅周辺の歩道の段差解消率	5% (H28年度末)	25% (H30年度末)	15% (H30年度末)	◎	100% (R9年度末)	

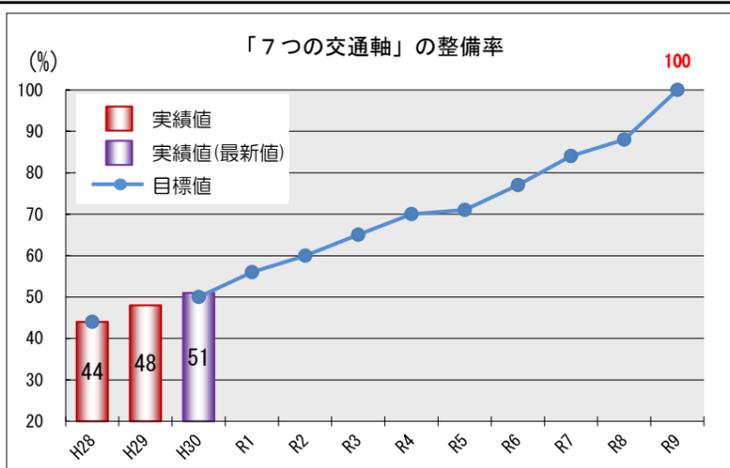
番号	基本目標2 安全の指標	初期値	現状値 (最新値)	左記の 目標値	評価	目標値	備考
21	横断歩道橋補修の進捗率	0% (H29年度末)	20% (H30年度末)	20% (H30年度末)	◎	100% (R4年度末)	
22	トンネル付属施設補修の進捗率	0% (H29年度末)	31% (H30年度末)	31% (H30年度末)	◎	100% (R4年度末)	
23	舗装補修の進捗率	0% (H29年度末)	14% (H30年度末)	20% (H30年度末)	▲	100% (R4年度末)	
24	道路照明のLED化の進捗率	32% (H28年度末)	40% (H30年度末)	45% (H30年度末)	▲	100% (R3年度末)	「基本目標：環境」の指標で重複
25	道路橋補修の進捗率	0% (H29年度末)	29% (H30年度末)	30% (H30年度末)	○	100% (R4年度末)	
26	河川構造物補修の進捗率	0% (H29年度末)	18% (H30年度末)	20% (H30年度末)	▲	100% (R4年度末)	
27	都市公園（遊具・建築物）補修の進捗率	0% (H29年度末)	47% (H30年度末)	47% (H30年度末)	◎	100% (R4年度末)	
28	下水道施設補修の進捗率	0% (H29年度末)	14% (H30年度末)	14% (H30年度末)	◎	100% (R4年度末)	
29	県営住宅改修の進捗率	0% (H29年度末)	13% (H30年度末)	18% (H30年度末)	▲	100% (R4年度末)	
30	砂防関係施設補修の進捗率	0% (H29年度末)	13% (H30年度末)	19% (H30年度末)	▲	100% (R4年度末)	
番号	基本目標3 魅力の指標	初期値	現状値 (最新値)	左記の 目標値	評価	目標値	備考
31	市街化区域内人口密度	64.3人/ha (H28年度末)	68.2人/ha (H30年度末)	60人/haの維持 (H30年度末)	◎	60人/haの維持 (R9年度末)	
32	立地適正化計画策定市町村数	0市町村 (H28年度末)	7市町村 (H30年度末)	7市町村 (H30年度末)	◎	11市町村 (R3年度末)	
33	県の支援によって移住手段の改善が行われたモデル地区数	0地区 (H29年度末)	1地区 (H30年度末)	1地区 (H30年度末)	◎	10地区 (R9年度末)	
34	公共交通（鉄道・乗合バス）の利用者数	6181万人 (H28年度末)	6263万人 (H29年度末)	6181万人の維持 (H29年度末)	◎	6181万人の維持 (R9年度末)	「基本目標：環境」の指標で重複
35	地域公共交通網形成計画策定市町村数	2市町村 (H29年度末)	2市町村 (H30年度末)	2市町村 (H30年度末)	◎	10市町村 (R9年度末)	
36	ぐんま景観形成モデル事業数	0事業 (H29年度末)	0事業 (H30年度末)	0事業 (H30年度末)	◎	15事業 (R9年度末)	
37	空家等対策計画策定市町村数	16市町村 (H29年度末)	21市町村 (H30年度末)	18市町村 (H30年度末)	◎	32市町村 (R7年度末)	
38	地域振興施設の完成件数	10施設 (H29年度末)	11施設 (H30年度末)	11施設 (H30年度末)	◎	20施設 (R元年度末)	
番号	基本目標4 環境の指標	初期値	現状値 (最新値)	左記の 目標値	評価	目標値	備考
39	汚水処理人口普及率	79.3% (H28年度末)	81.3% (H30年度末)	81.5% (H30年度末)	○	91.7% (R9年度末)	
40	建設発生土有効利用率	- (H29年度末)	未公表 (H30年度末)	80%以上の維持 (H30年度末)	-	80%以上の維持 (R9年度末)	H30年度実績値は、R元年中に公表予定

**指標 1 「7つの交通軸」の整備率**

●現在の状況及び課題  
平成30年度は、国道120号須賀川バイパスとや県道高崎渋川線バイパス3期工区の合計3.1kmが開通したことから、指標の進捗は順調に推移している。(整備率：51%/目標値：50%)

●今後の取り組み予定  
令和9年度までに「主軸」となる広域的な幹線道路と高速道路や主軸の効果を一層高める「強化路線」の完成を目指し、引き続き計画的に整備を推進する。

H28(初期値)	H29	H30	R1	R2	R3
44	48	51			
R4	R5	R6	R7	R8	R9



**指標 5 土砂災害対策推進計画に基づく要対策箇所の整備率**

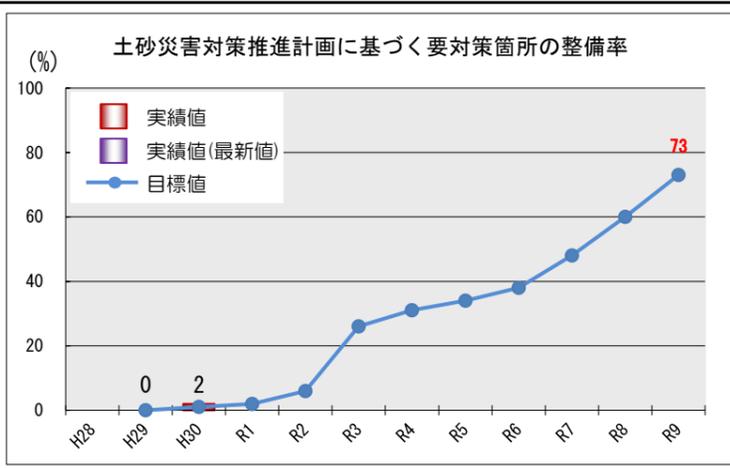
●現在の状況及び課題  
「土砂災害対策推進計画」に基づき、土石流対策やがけ崩れ対策等を推進し、平成30年度は、不動沢土石流対策他1箇所が完成し、指標の進捗は順調に推移している。(整備率：2%/目標値：1%)

●今後の取り組み予定  
引き続き、要配慮者利用施設や避難場所等の保全対象施設の状況や、地形・斜面等の危険度を踏まえ、優先順位の高い箇所から計画的かつ重点的に土砂災害対策を推進する。

なお、令和元年度は64箇所です砂災害対策を推進する。

●指標における実績値の推移 [単位：%]

H28	H29(初期値)	H30	R1	R2	R3
-	0	2			
R4	R5	R6	R7	R8	R9



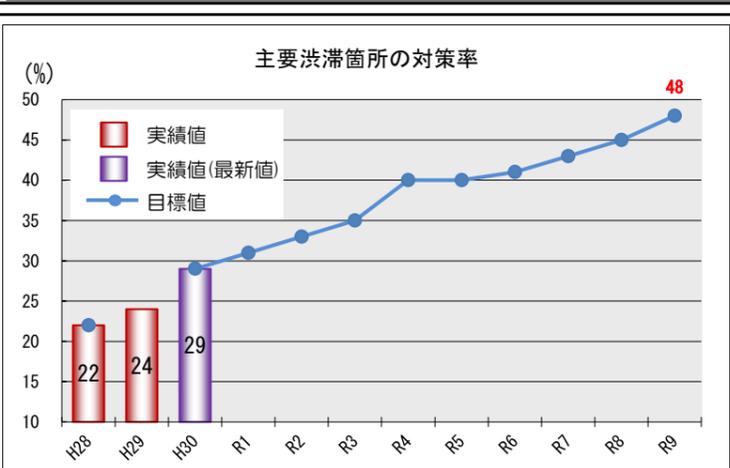
**指標 2 主要渋滞箇所の対策率**

●現在の状況及び課題  
平成30年度は、県道高崎渋川線バイパス3期工区や東本町交差点改良などで整備を推進し、このうち12箇所が完成したことから、指標の進捗は順調に推移している。(対策率：29%/目標値：29%)

●今後の取り組み予定  
今後も渋滞要因を分析した上で、効果的な渋滞対策を推進し、交通の円滑化を図る。

●指標における実績値の推移 [単位：%]

H28(初期値)	H29	H30	R1	R2	R3
22	24	29			
R4	R5	R6	R7	R8	R9



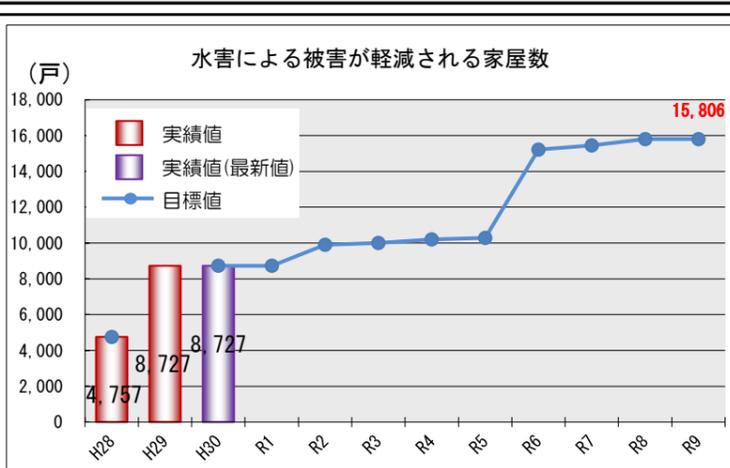
**指標 6 水害による被害が軽減される家屋数**

●現在の状況及び課題  
平成30年度は、井野川等で河川改修を推進し、延長4.0kmの整備が完了したが、一定の延長が整備されないと浸水想定区域が減少しないため、指標の進捗には反映されていない。(家屋数：8,727戸/目標値：8,727戸)

●今後の取り組み予定  
国が進める「防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策」等の制度等を積極的に活用し、河川改修を重点的に推進し、浸水被害の防止・最小化に努める。

●指標における実績値の推移 [単位：戸]

H28(初期値)	H29	H30	R1	R2	R3
4,757	8,727	8,727			
R4	R5	R6	R7	R8	R9



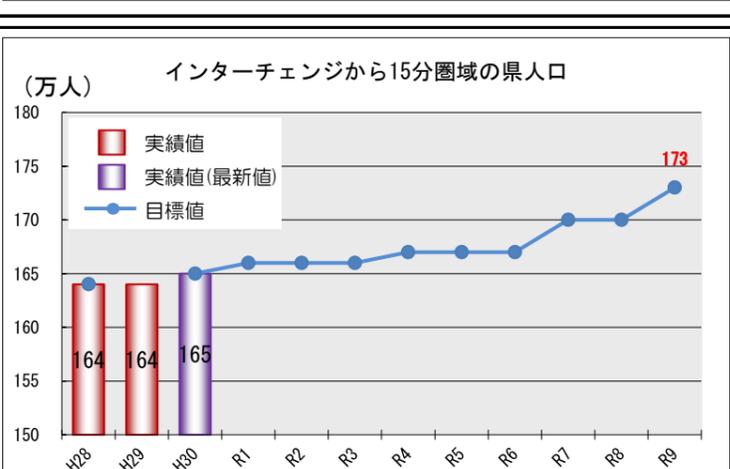
**指標 3 インターチェンジから15分圏内の県人口**

●現在の状況及び課題  
平成30年度は、高崎渋川線バイパス3期工区が開通したことで、インターチェンジから15分圏内の県人口が165万人となり、指標の進捗は順調に推移している。(県人口：165万人/目標値：165万人)

●今後の取り組み予定  
今後も高速道路網の効果を県内すべての地域の産業の発展や観光振興などに活かすため、上信自動車道や西毛広域幹線道路など、県土整備プランに位置付けられた道路の整備を計画的かつ重点的に推進する。

●指標における実績値の推移 [単位：万人]

H28(初期値)	H29	H30	R1	R2	R3
164	164	165			
R4	R5	R6	R7	R8	R9



**指標 7 土砂災害による被害が軽減される要配慮者利用施設数**

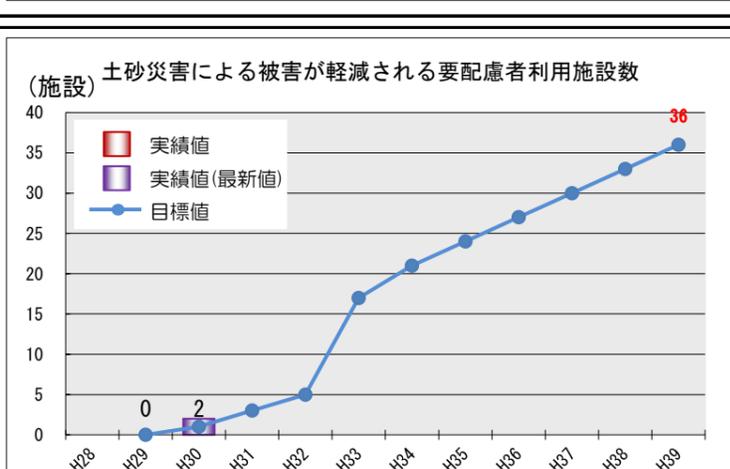
●現在の状況及び課題  
平成30年度は、不動沢土石流対策他1箇所が完成し、要配慮者利用施設2施設の被害が軽減され、指標の進捗は順調に推移している。(施設数：2施設/目標値：1施設)

●今後の取り組み予定  
「土砂災害対策推進計画」に基づき、要配慮者利用施設の被害を軽減する土砂災害対策を、計画的かつ重点的に推進する。

なお、令和元年度は、要配慮者利用施設を保全する土砂災害対策を24箇所です砂災害対策を推進する。

●指標における実績値の推移 [単位：施設]

H28	H29(初期値)	H30	R1	R2	R3
-	0	2			
R4	R5	R6	R7	R8	R9



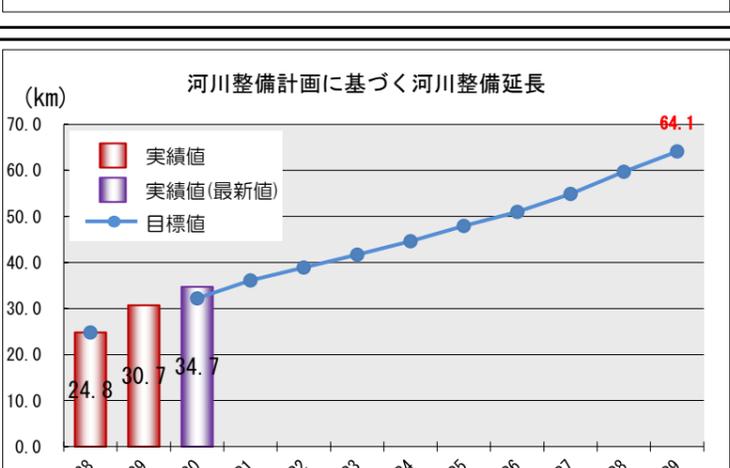
**指標 4 河川整備計画に基づく河川整備延長**

●現在の状況及び課題  
河川整備計画に基づく、河道拡幅や堤防整備、調節池整備を推進しており、平成30年度は、井野川等で河川改修を推進し、延長4.0kmの整備が完了したことから、指標の進捗は順調に推移している。(整備延長：34.7km/目標値：32.2km)

●今後の取り組み予定  
国が進める「防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策」等の制度等を積極的に活用し、河川改修を重点的に推進し、浸水被害の防止・最小化に努める。

●指標における実績値の推移 [単位：km]

H28(初期値)	H29	H30	R1	R2	R3
24.8	30.7	34.7			
R4	R5	R6	R7	R8	R9



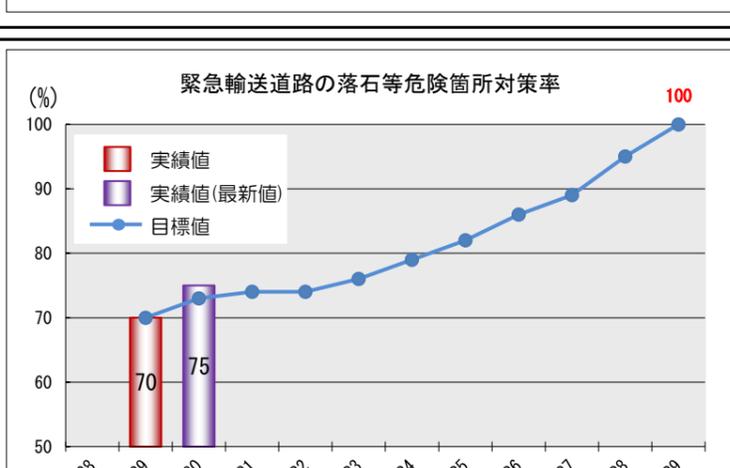
**指標 8 緊急輸送道路の落石等危険箇所対策率**

●現在の状況及び課題  
平成30年度は、国道462号譲原工区ほか57箇所です砂災害対策を推進し、29箇所が完成したことで、緊急輸送道路の危険箇所551箇所のうち対策済箇所は416箇所となり、指標の進捗は順調に推移している。(対策率：75%/目標値：73%)

●今後の取り組み予定  
国が進める「防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策」等の制度等を積極的に活用し、緊急輸送道路が落石等により寸断しないよう、計画的な危険箇所の解消に取り組む。なお、令和元年度は、18箇所の対策が完了予定。

●指標における実績値の推移 [単位：%]

H28	H29(初期値)	H30	R1	R2	R3
-	70	75			
R4	R5	R6	R7	R8	R9



**指標 9 緊急輸送道路の電線共同溝による無電柱化整備延長**

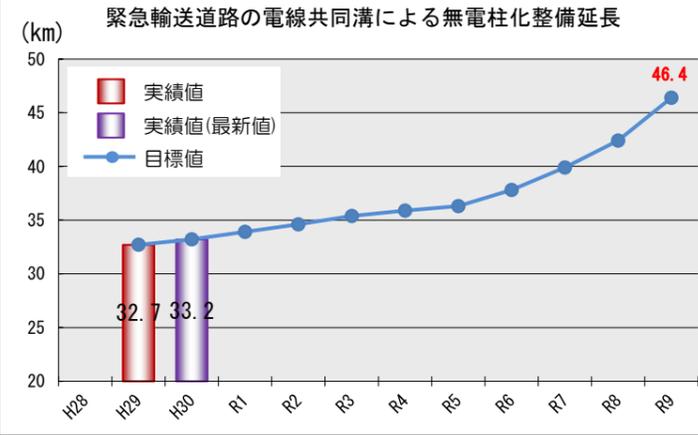
●現在の状況及び課題  
平成30年度は、前橋館林線連取工区ほか30箇所で、緊急輸送道路の無電柱化を推進し、延長33.2kmの整備が完了したことから、指標の進捗は順調に推移している。(整備延長：33.2km/目標値：33.2km)

●今後の取り組み予定  
令和元年度においても、緊急輸送道路の災害時における機能確保に向けて、34箇所、延長21.1kmの整備を推進する。

また、昨年度策定した「群馬県無電柱化計画2019」に基づき、電線事業者と協力し無電柱化対策の推進を図る。

●指標における実績値の推移 [単位：km]

H28	H29(初期値)	H30	R1	R2	R3
0.0	32.7	33.2			
R4	R5	R6	R7	R8	R9



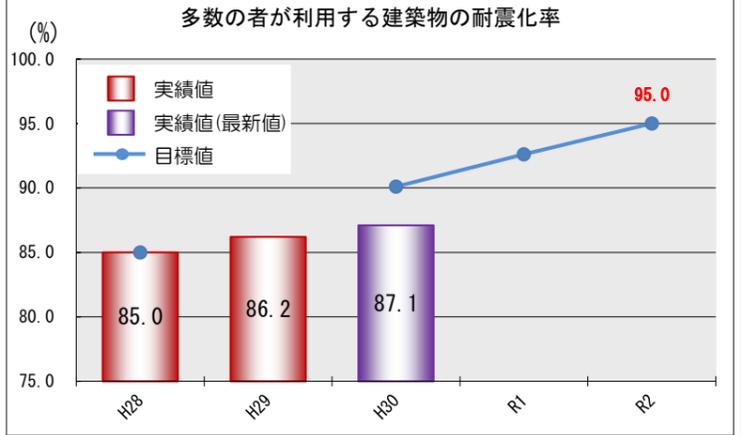
**指標 13 多数の者が利用する建築物の耐震化率**

●現在の状況及び課題  
遅れていた庁舎等の耐震化を促進するため、平成29年度に「群馬県耐震改修促進計画」を改正し、災害対策本部を置く庁舎等に耐震診断を義務付けるなどの取組を実施してきたが、未だ指標の進捗に遅れが生じており、耐震化を一層促進する取組が必要である。(耐震化率：87.1%/目標値：90.1%)

●今後の取り組み予定  
庁舎やホテル・旅館等の耐震診断義務付け建築物への支援策を引き続き実施し、地震の揺れにより倒壊した場合に発生する甚大な被害の防止を図る。

●指標における実績値の推移 [単位：%]

H28(初期値)	H29	H30	R1	R2	R3
85.0	86.2	87.1			
R4	R5	R6	R7	R8	R9



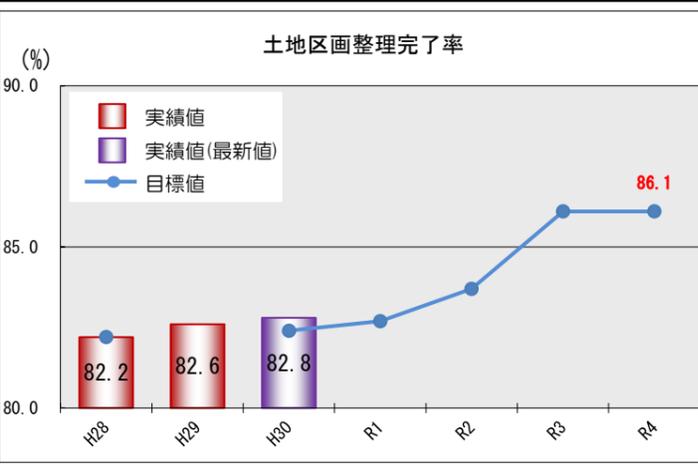
**指標 10 土地区画整理完了率**

●現在の状況及び課題  
土地区画整理事業の事業主体である市町村や組合に対する指導や助言、整備費用に対する財政的支援を行い、平成30年度は3地区で事業が完了したことから、指標の進捗は順調に推移している。(完了率：82.8%/目標値：82.4%)

●今後の取り組み予定  
各地区の早期完成に向けて、引き続き、市町村や組合に対する支援を行う。

●指標における実績値の推移 [単位：%]

H28(初期値)	H29	H30	R1	R2	R3
82.2	82.6	82.8			
R4	R5	R6	R7	R8	R9



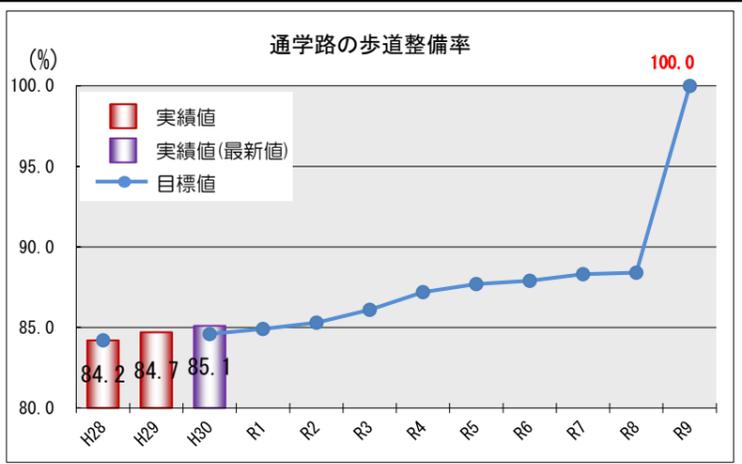
**指標 14 通学路の歩道整備率**

●現在の状況及び課題  
平成30年度は、平川横塚線谷地工区ほか64箇所で歩道整備を推進し、延長2.2kmが完成したことで、法指定通学路702.5kmのうち整備済み延長は、597.5kmとなり、指標の進捗は順調に推移している。(整備率：85.1%/目標値：84.6%)

●今後の取り組み予定  
児童や生徒が安全に通学できるよう、事業中箇所の早期完成に向け事業の進捗を図るとともに、未着手箇所についても計画的に着手していく。なお、令和元年度は、64箇所で整備を推進し、延長1.5kmが完成予定。

●指標における実績値の推移 [単位：%]

H28(初期値)	H29	H30	R1	R2	R3
84	85	85			
R4	R5	R6	R7	R8	R9



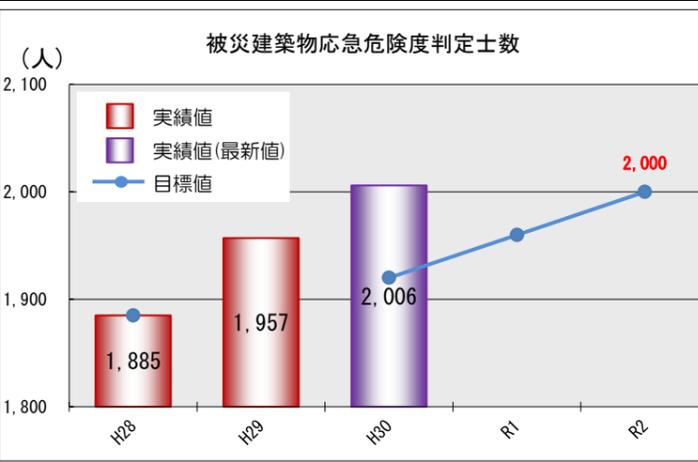
**指標 11 被災建築物応急危険度判定士数**

●現在の状況及び課題  
平成27年度から、被災建築物応急危険度判定士養成講習会を年1回から年2回に増やしたことで、目標数達成に向け順調に推移しており、平成30年度は46名の増加が図れた。

●今後の取り組み予定  
引き続き、講習会の実施や普及啓発を行い、更なる判定士数の増加に努めるとともに、判定士の技術力の向上を図るため、模擬訓練等の取組を実施する。

●指標における実績値の推移 [単位：人]

H28(初期値)	H29	H30	R1	R2	R3
1,885	1,957	2,006			
R4	R5	R6	R7	R8	R9



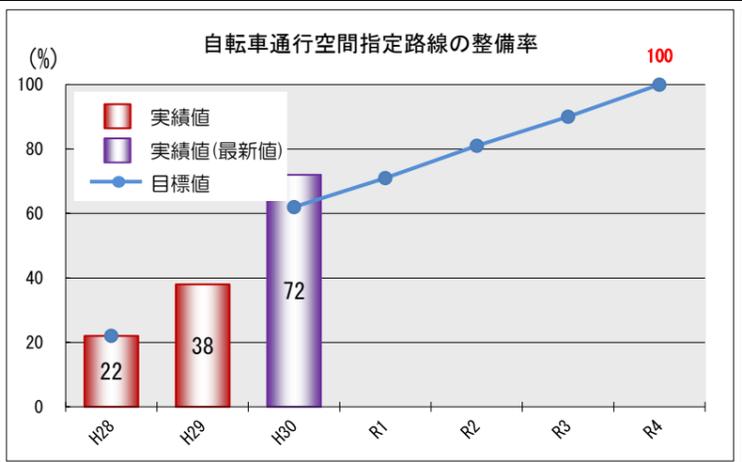
**指標 15 自転車通行空間指定路線の整備率**

●現在の状況及び課題  
県と前橋市、高崎市、桐生市、太田市が協調して、主に高校と駅を結ぶ自転車通学経路の安全対策として、4市12地区の総延長約53kmを自転車通行環境整備路線に定め、自転車通行空間の整備を進めている。平成30年度は、県管理道路2.47kmの整備が完成するなど、指標の進捗は順調に推移している。(整備率：72%/目標値：62%)

●今後の取り組み予定  
引き続き、「群馬県自転車活用推進計画」に基づき、自転車通行空間の整備を計画的に推進する。

●指標における実績値の推移 [単位：%]

H28(初期値)	H29	H30	R1	R2	R3
22	38	72			
R4	R5	R6	R7	R8	R9



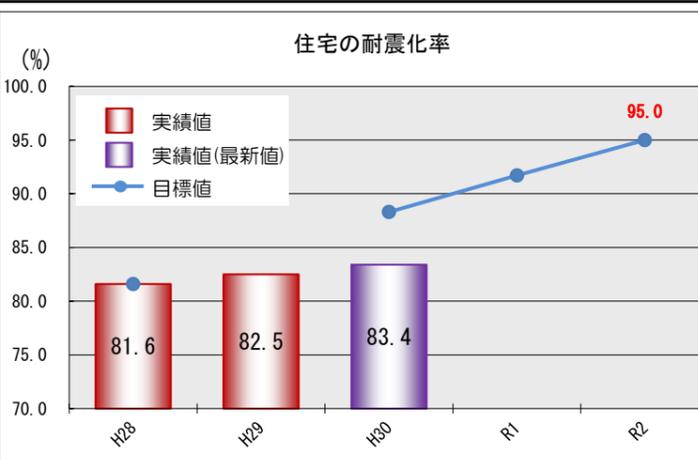
**指標 12 住宅の耐震化率**

●現在の状況及び課題  
住宅の耐震化の促進に向け、市町村への支援を継続してきた結果、耐震改修補助の実施市町村数は増加している。(H24：15市町村 → R1：25市町村)しかし、指標の進捗に遅れが生じており、耐震化を一層促進する取組が必要である。(耐震化率：83.4%/目標値：88.3%)

●今後の取り組み予定  
今後、耐震改修補助を実施する市町村の更なる増加に向け、これまでの取組に加え、耐震化が図られていない既存住宅の所有者に焦点を絞った個別訪問などを実施する。

●指標における実績値の推移 [単位：%]

H28(初期値)	H29	H30	R1	R2	R3
81.6	82.5	83.4			
R4	R5	R6	R7	R8	R9



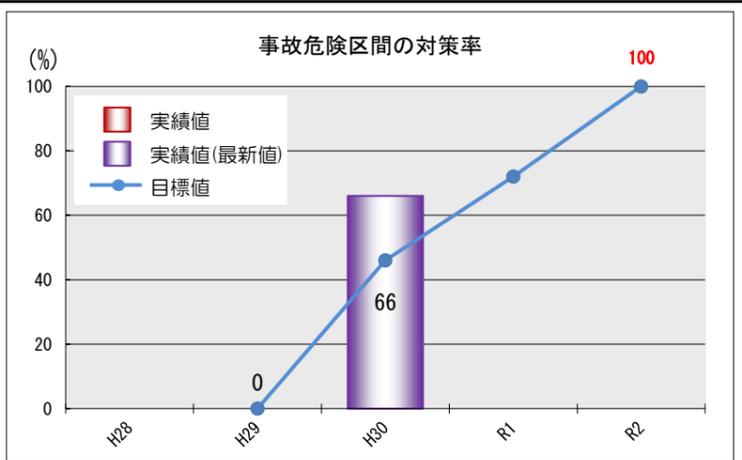
**指標 16 事故危険区間の対策率**

●現在の状況及び課題  
交通事故が多発する箇所を対象に「事故ゼロプラン」に基づき安全対策を実施しており、県管理道路では、平成29年度までに全101区間を選定されている。平成30年度には、28区間で着手し、28箇所で完成したことから、指標の進捗は順調に推移している。(対策率：66%/目標値：46%)

●今後の取り組み予定  
令和元年度は、34区間において工事実施予定であり、指定箇所全ての整備完了を目指す。

●指標における実績値の推移 [単位：%]

H28	H29(初期値)	H30	R1	R2	R3
-	0	66			
R4	R5	R6	R7	R8	R9



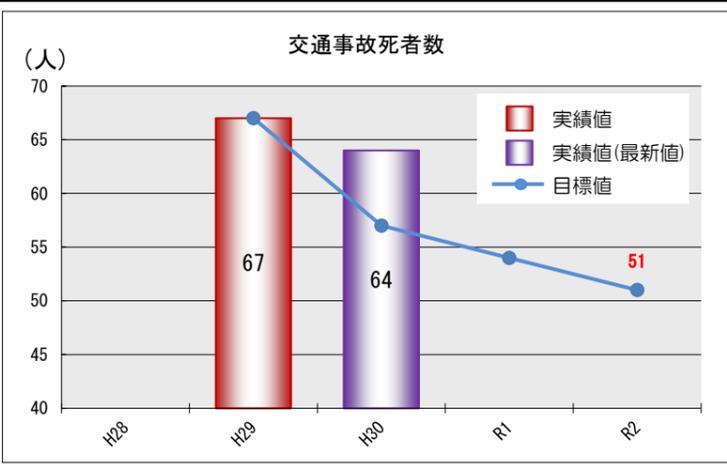
**指標 17 交通事故死者数**

●現在の状況及び課題  
平成27年の68人から、令和2年までに25%以上減少させるために様々な取組を実施してきたところであるが、平成30年は64人と減少傾向にあるが未だ6%の減少にとどまっておらず、指標の進捗に遅れが生じているため、より効果的な取組が必要である。

●今後の取り組み予定  
死者の半数以上を占める高齢者を重点的に県警や交通関係団体を連携し、反射材の貼付活動、運転免許証の自主返納の促進、セーフティ・サポートカーの体験乗車を取り入れた交通安全教育等を推進する。

●指標における実績値の推移 [単位：人]

H28	H29(初期値)	H30	R1	R2	R3
—	67	64			
R4	R5	R6	R7	R8	R9



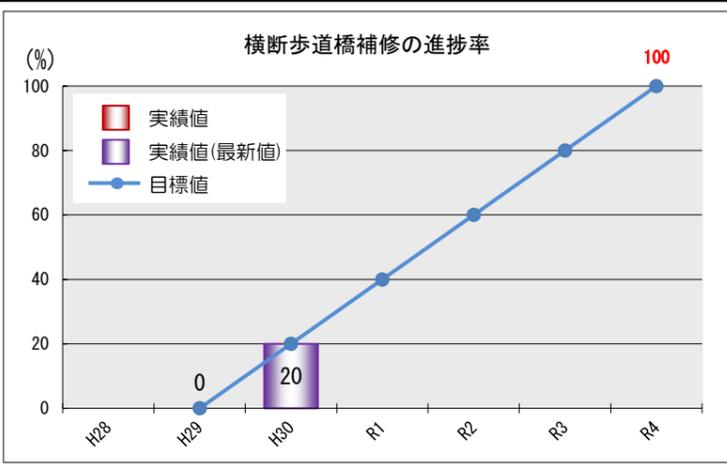
**指標 21 横断歩道橋補修の進捗率**

●現在の状況及び課題  
「群馬県道路施設長寿命化計画」に基づき、計画的な横断歩道橋の補修を実施しており、平成30年度は、6箇所完了し、指標の進捗は順調に推移している。(進捗率：20%/目標値：20%)

●今後の取り組み予定  
引き続き、横断歩道橋を長期にわたって安全に使用し続けるために、計画的な点検・維持管理・更新を実施する。

●指標における実績値の推移 [単位：%]

H28	H29(初期値)	H30	R1	R2	R3
—	0	20			
R4	R5	R6	R7	R8	R9



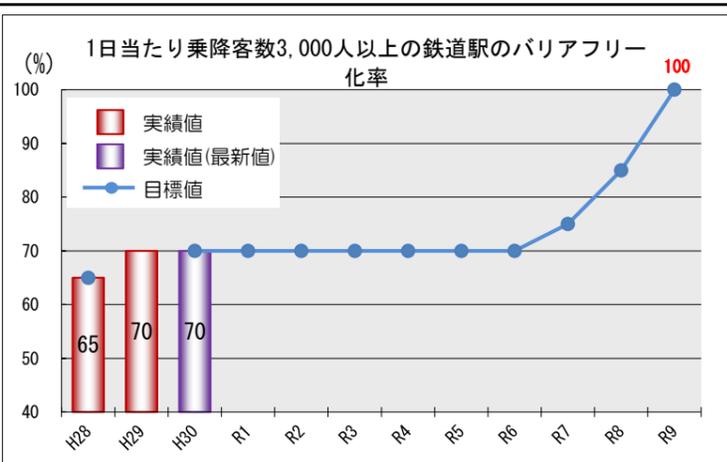
**指標 18 1日当たり乗降客数3,000人以上の鉄道駅のバリアフリー化率**

●現在の状況及び課題  
平成30年度末現在で、対象20駅のうち14駅のバリアフリー化が完了しており、指標の進捗は順調に推移している。(バリアフリー化率：70%/目標値：70%)

●今後の取り組み予定  
改正バリアフリー法(H31.4.1施行)で交通事業者による施設整備等の計画作成が義務化され、未整備6駅(JR新町駅、JR倉賀野駅、JR井野駅、JR北高崎駅、JR群馬総社駅、JR国定駅)について、鉄道事業者及び各所在市と引き続き協議を行う。なお、JR新町駅は、令和3年度の完成を目指し、昨年度から高崎市がエレベーターの整備に着手している。

●指標における実績値の推移 [単位：%]

H28(初期値)	H29	H30	R1	R2	R3
65	70	70			
R4	R5	R6	R7	R8	R9



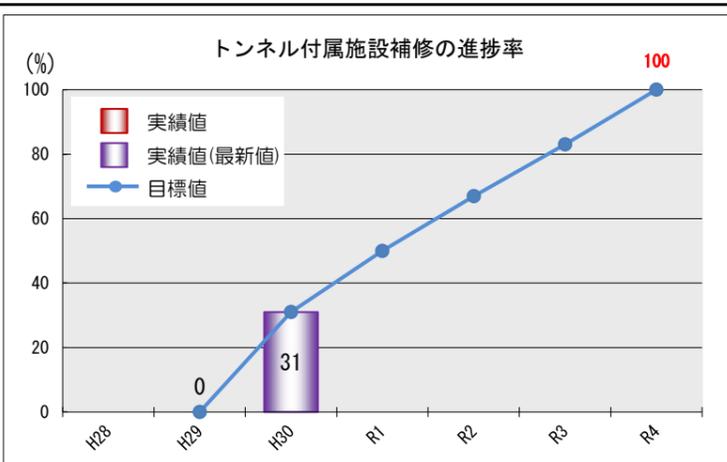
**指標 22 トンネル付属施設補修の進捗率**

●現在の状況及び課題  
「群馬県道路施設長寿命化計画」に基づき、計画的なトンネル及び付属施設の補修を実施しており、平成30年度は、11箇所完了し、指標の進捗は順調に推移している。(進捗率：31%/目標値：31%)

●今後の取り組み予定  
令和元年度は7箇所補修工事を実施予定である。引き続き、トンネルを長期にわたって安全に使用し続けるために、計画的な点検・維持管理・更新を実施する。

●指標における実績値の推移 [単位：%]

H28	H29(初期値)	H30	R1	R2	R3
—	0	31			
R4	R5	R6	R7	R8	R9



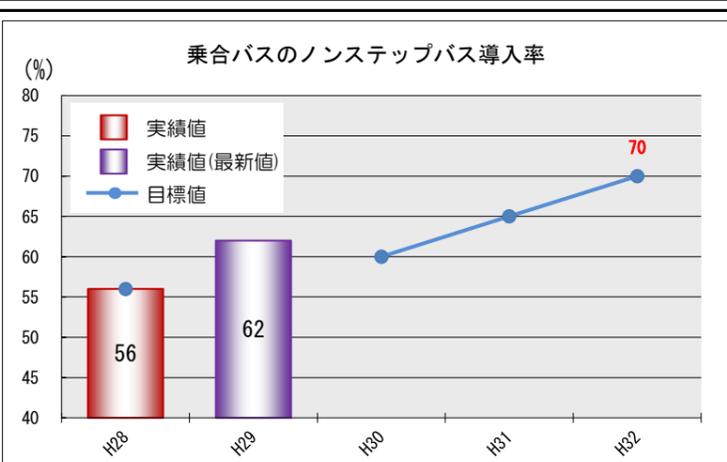
**指標 19 乗合バスのノンステップバス導入率**

●現在の状況及び課題  
群馬県においては、乗合バスのノンステップバス導入率の増加に向け、バス事業者に購入費の一部を補助しているが、予算の制約や、バス利用者の減少が進む中、バス事業者の体力にも問題があり、平成29年度末でも62%にとどまっている。

●今後の取り組み予定  
目標達成に向け、引き続き、バス事業者への購入費補助を継続するとともに、平成29年度に策定した「群馬県交通まちづくり戦略」に基づき、バス利用者の増加に向けた取組を推進する。

●指標における実績値の推移 [単位：%]

H28(初期値)	H29	H30	R1	R2	R3
56	62	0			
R4	R5	R6	R7	R8	R9



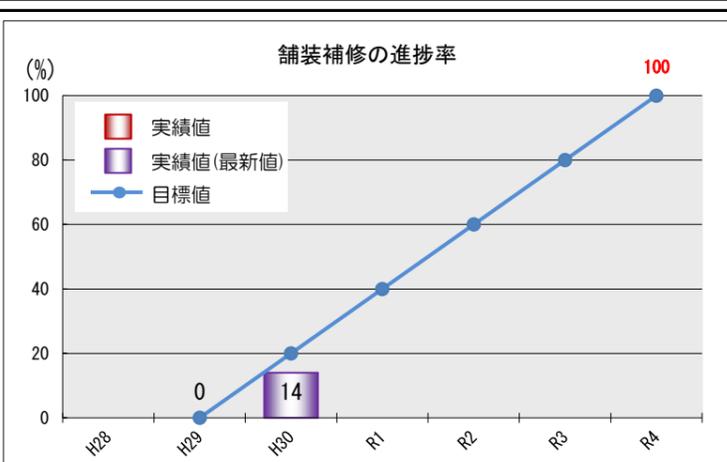
**指標 23 舗装補修の進捗率**

●現在の状況及び課題  
「群馬県道路施設長寿命化計画」に基づき、計画的な舗装補修を実施しており、平成30年度は、延長44kmの補修が完了したが、指標の進捗に遅れが生じており、一層推進を図っていく取組が必要である。(進捗率：14%/目標値：20%)

●今後の取り組み予定  
引き続き、「群馬県道路施設長寿命化計画」に基づき計画的な舗装補修を実施するとともに、遅れを取り戻すために、損傷が軽微な段階で予防保全的な対策を積極的に推進する。

●指標における実績値の推移 [単位：%]

H28	H29(初期値)	H30	R1	R2	R3
—	0	14			
R4	R5	R6	R7	R8	R9



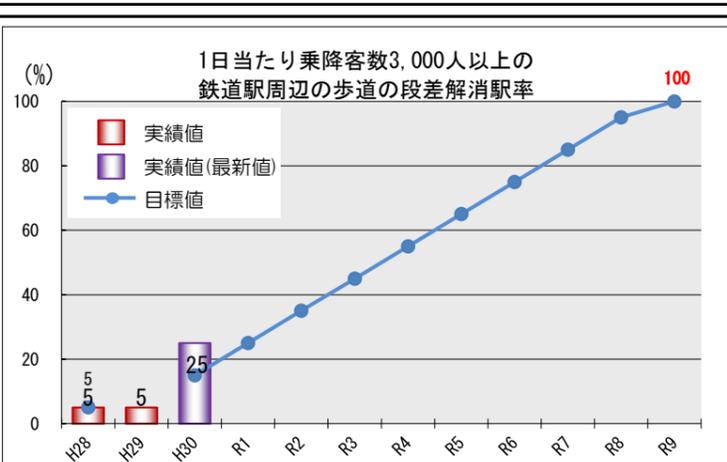
**指標 20 1日当たり乗降客数3,000人以上の鉄道駅周辺の歩道の段差解消率**

●現在の状況及び課題  
対象となる鉄道20駅のうち、JR前橋大島駅周辺で歩道の段差解消が完了しており、平成30年度は高崎問屋町駅など4駅の周辺で歩道の段差解消が完了し、指標の進捗は順調に推移している。(段差解消率：25%/目標値15%)

●今後の取り組み予定  
令和元年度は井野駅及び館林駅周辺で歩道の段差解消を推進するとともに、今後、残りの17駅周辺も計画的に推進し、誰もが利用しやすい歩行空間を創出する。

●指標における実績値の推移 [単位：%]

H28(初期値)	H29	H30	R1	R2	R3
—	5	25			
R4	R5	R6	R7	R8	R9



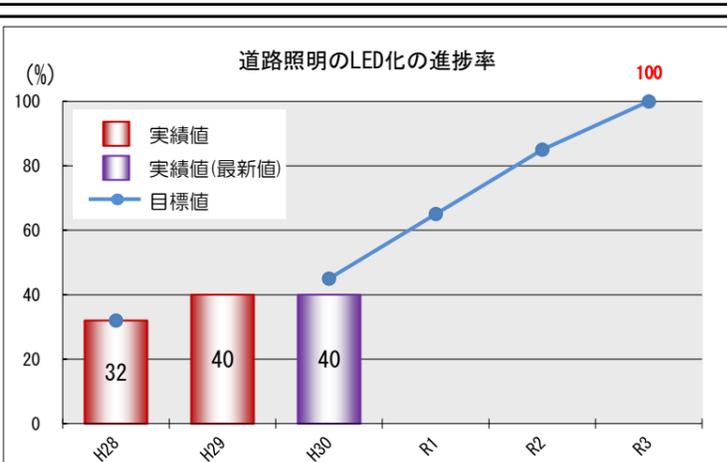
**指標 24 道路照明のLED化の進捗率**

●現在の状況及び課題  
「群馬県道路施設長寿命化計画」に基づき、計画的な道路照明のLED化を実施してきたところであるが、国が進める「防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策」を活用して全て完了させる方針としたため、平成30年度は実施しなかった。(進捗率：40%/目標値：45%)

●今後の取り組み予定  
令和元年度に残りの約6000灯のLED化を完了させ、進捗率を100%とする予定である。

●指標における実績値の推移 [単位：%]

H28(初期値)	H29	H30	R1	R2	R3
32	40	40			
R4	R5	R6	R7	R8	R9



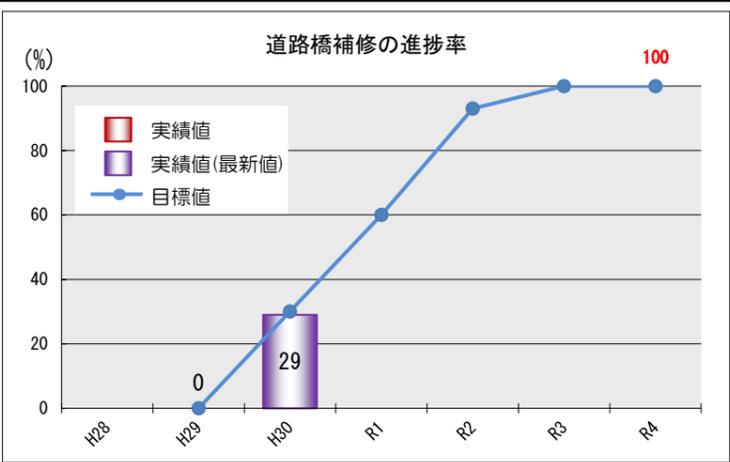
**指標 25 道路橋補修の進捗率**

●現在の状況及び課題  
「群馬県橋梁長寿命化計画」に基づき、計画的な点検・維持管理・更新を実施している。定期点検では、300橋が緊急対策が必要と判明し、平成30年度は87橋の補修が完了させたことから、指標の進捗は順調に推移している。(進捗率：29%/目標値：30%)

●今後の取り組み予定  
令和3年度までに300橋の補修の完了を目指し、計画的かつ効率的な維持管理・更新に取り組む。このうち、令和元年度は93橋の補修を完了させる予定である。

●指標における実績値の推移 [単位：%]

H28	H29(初期値)	H30	R1	R2	R3
-	0	29			
R4	R5	R6	R7	R8	R9



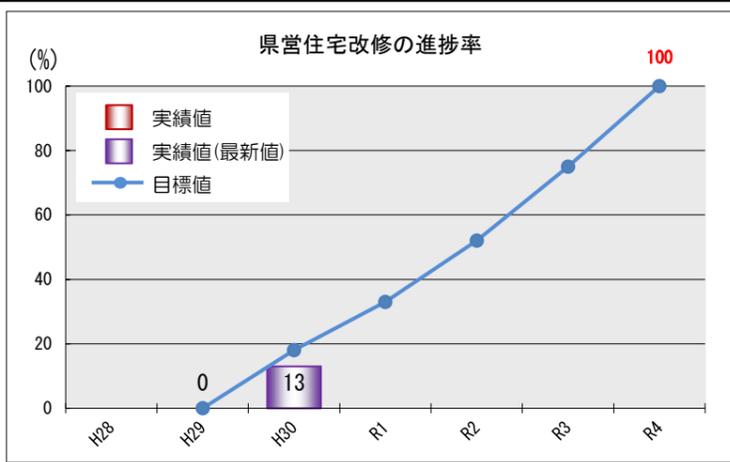
**指標 29 県営住宅改修の進捗率**

●現在の状況及び課題  
人口減少下における県営住宅のあり方を踏まえ、平成29年度に策定した「群馬県県営住宅長寿命化計画(2018)」に基づき、平成30年度は、中尾県営住宅など200戸の改善工事を完了させたが、指標の進捗に遅れが生じており、一層推進を図っていく取組が必要である。(進捗率：13%/目標値18%)

●今後の取り組み予定  
令和元年度は、昨年度未完了の工事を完成させるとともに、住戸改善や外壁防水改修の工事に着手し年度内に完成させることにより、進捗率は目標を達成する予定である。

●指標における実績値の推移 [単位：%]

H28	H29(初期値)	H30	R1	R2	R3
-	0	13			
R4	R5	R6	R7	R8	R9



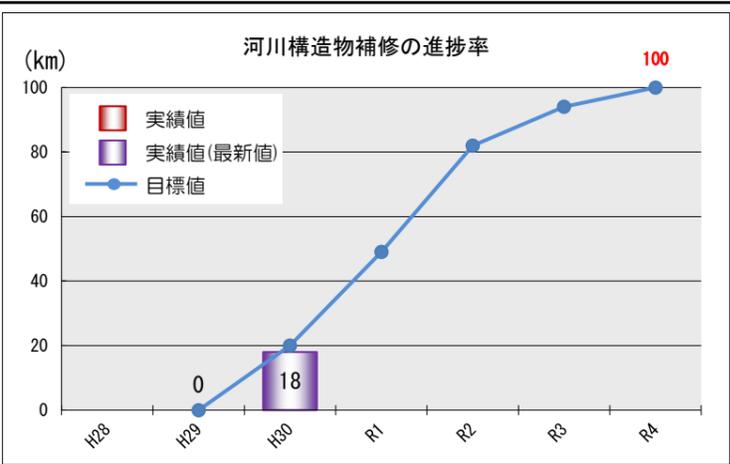
**指標 26 河川構造物補修の進捗率**

●現在の状況及び課題  
平成28年度に策定した「群馬県河川構造物長寿命化計画」に基づき、計画的な点検・維持管理・更新を実施している。平成30年度は、19箇所(12施設)の補修や更新が完了したが、指標の進捗に遅れが生じている。(進捗率：18%/目標値：20%)

●今後の取り組み予定  
引き続き、計画的な補修や更新を実施することとしており、令和元年度は、34箇所(10施設)の補修や更新を実施し、進捗の遅れを取り戻す予定である。

●指標における実績値の推移 [単位：%]

H28	H29(初期値)	H30	R1	R2	R3
-	0	18			
R4	R5	R6	R7	R8	R9



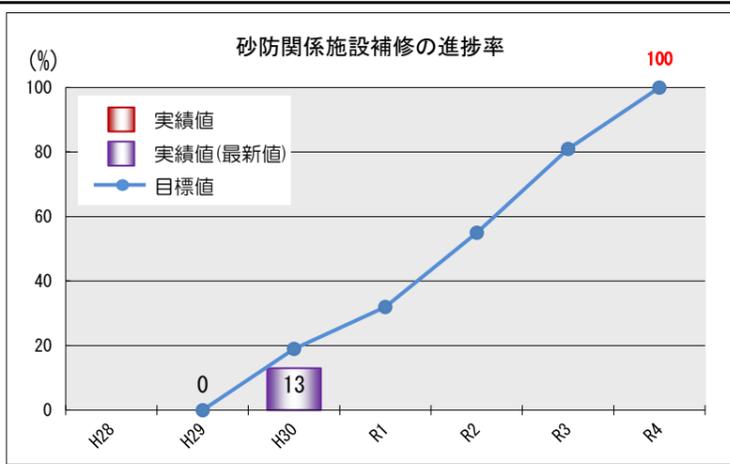
**指標 30 砂防関係施設補修の進捗率**

●現在の状況及び課題  
平成29年度に策定した「群馬県砂防関係施設長寿命化計画」に基づき、計画的な砂防関係施設の維持補修を実施しており、平成30年度は、19箇所所で事業を完了した。指標の進捗に遅れが生じており、一層推進を図っていく取組が必要である。(進捗率：13%/目標値：19%)

●今後の取り組み予定  
設計業務を前倒しで実施し、早期に工事着手するなど、進捗率の回復を図るとともに、令和元年度は62箇所所で計画的な維持補修を実施し、目標の達成を図る予定である。

●指標における実績値の推移 [単位：%]

H28	H29(初期値)	H30	R1	R2	R3
-	0	13			
R4	R5	R6	R7	R8	R9



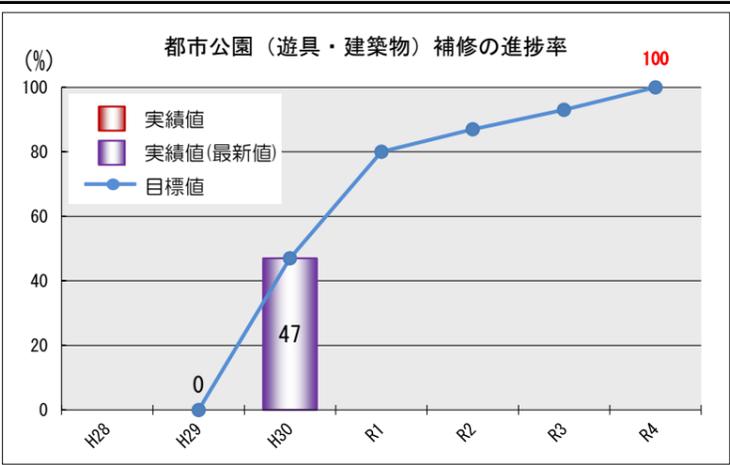
**指標 27 都市公園(遊具・建築物)補修の進捗率**

●現在の状況及び課題  
「都市公園長寿命化計画」に基づき、5つの県立都市公園における主要な施設である遊具や建築物の計画的な維持補修を実施している。平成30年度は、敷島公園管理事務所の建て替え工事など、7施設で補修や更新が完成したことから、指標の進捗は概ね順調に推移している。(進捗率：47%/目標値：47%)

●今後の取り組み予定  
引き続き、公園施設を長期にわたって安全に使用し続けるために、計画的な点検・維持管理・更新を実施する。

●指標における実績値の推移 [単位：%]

H28	H29(初期値)	H30	R1	R2	R3
-	0	47			
R4	R5	R6	R7	R8	R9



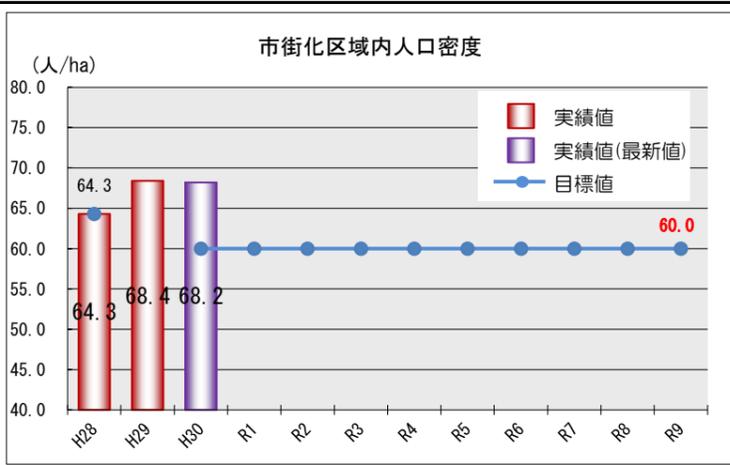
**指標 31 市街化区域内人口密度**

●現在の状況及び課題  
県内各都市の中心市街地において、一般的に人口減少が進行している傾向にあるため、平成29年度に対して平成30年度は人口密度が微減となっているが、ほぼ横ばいを維持している。

●今後の取り組み予定  
今後、県と市町村で協力して、立地適正化計画の居住誘導区域の設定や市街化調整区域の地区計画など郊外の土地利用規制を組み合わせ、「まちのまとまりづくり」を進める。

●指標における実績値の推移 [単位：人/ha]

H28	H29(初期値)	H30	R1	R2	R3
64	68	68			
R4	R5	R6	R7	R8	R9



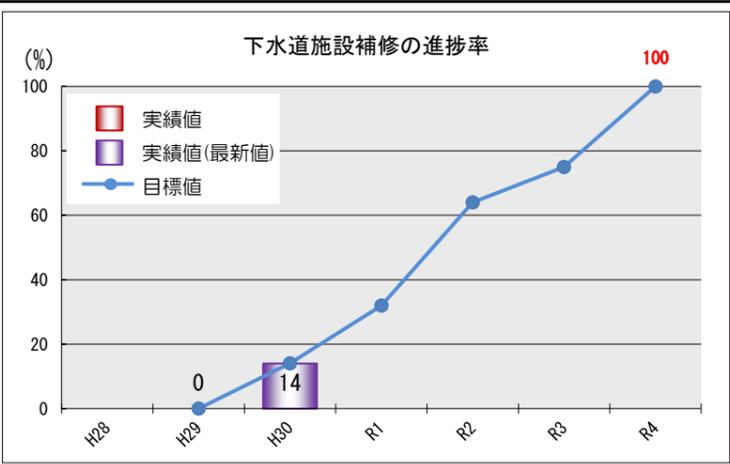
**指標 28 下水道施設補修の進捗率**

●現在の状況及び課題  
計画策定から5年が経過したことから、平成30年度に「下水道施設長寿命化計画」の見直しを行った。また、平成30年度は、玉村北ポンプ場主ポンプ改築更新工事など4施設で改築更新を実施したことから、指標の進捗は順調に推移している。(進捗率：14%/目標値：14%)

●今後の取り組み予定  
引き続き、平成30年度に見直した「下水道施設長寿命化計画」に基づき、持続的な汚水処理機能の確保のため、計画的な施設点検と施設更新を行う。

●指標における実績値の推移 [単位：%]

H28	H29(初期値)	H30	R1	R2	R3
-	0	14			
R4	R5	R6	R7	R8	R9



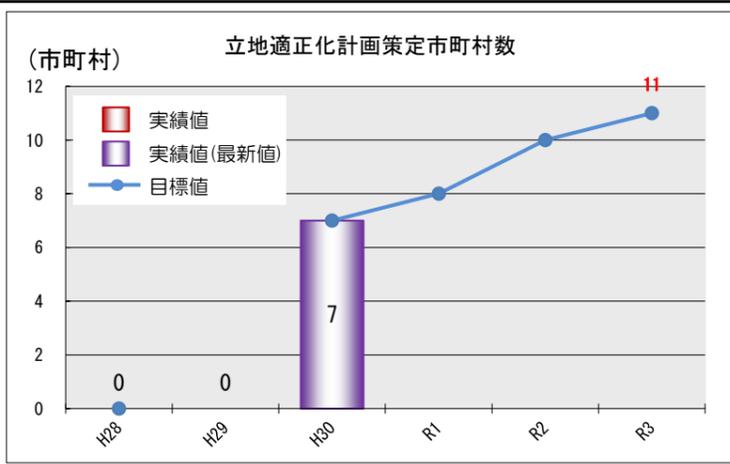
**指標 32 立地適正化計画策定市町村数**

●現在の状況及び課題  
計画策定に着手した12市町のうち、平成30年度は、前橋市、伊勢崎市、太田市、明和町、邑楽町、藤岡市、吉岡町の7市町が策定し公表した。指標の進捗は順調に推移している。(市町村数：7市町/目標値：7市町)

●今後の取り組み予定  
令和元年度は、館林市が4月に策定・公表しており、さらには高崎市、桐生市が策定し公表を予定しており、県としては、今後も市町村の立地適正化策定委員会に参加し、助言等を行い、市町村の計画策定の支援を行う。

●指標における実績値の推移 [単位：市町村]

H28(初期値)	H29	H30	R1	R2	R3
0	0	7			
R4	R5	R6	R7	R8	R9



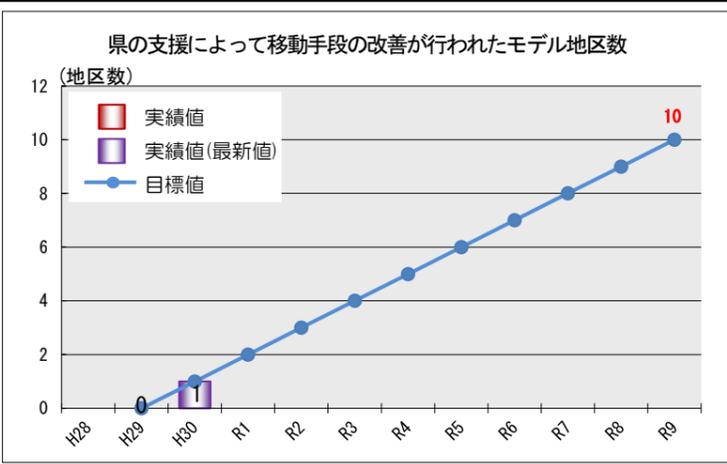
**指標 33 県の支援によって移動手段の改善が行われたモデル地区数**

●現在の状況及び課題  
平成27、28年度に、本県で実施したパーソントリップ調査の結果を活用し、市町村運営バス路線と広域的な幹線バス路線との競合整理や連携を調整するため、平成30年度は沼田市のバス路線見直しについて再編支援を行った。

●今後の取り組み予定  
同様の課題を抱える他の市町村においても、利便性の向上や利用者の増加に向け、「広域バス路線網課題整理分析事業」等も活用し、積極的に支援を行う。

●指標における実績値の推移 [単位：地区]

H28	H29(初期値)	H30	R1	R2	R3
—	0	1			
R4	R5	R6	R7	R8	R9



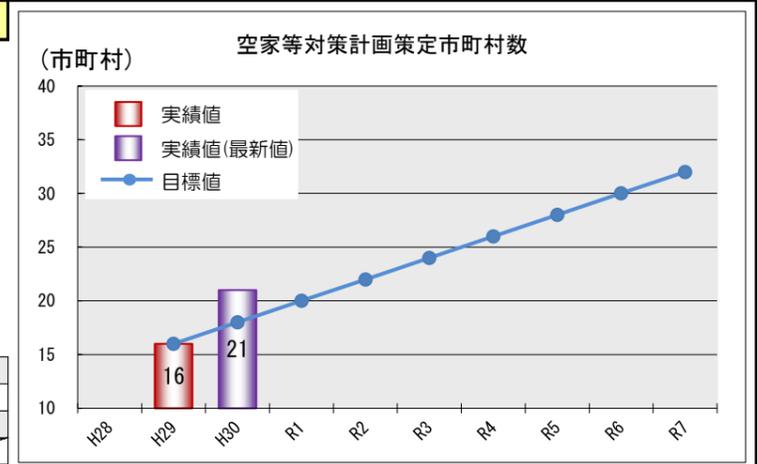
**指標 37 空家等対策計画策定市町村数**

●現在の状況及び課題  
空き家対策を効果的かつ効率的に推進するための「空家等対策計画」について、平成30年度は、5市町村が新たに策定し、累計21市町村が策定を完了したことで、指標の進捗は順調に推移している。(市町村数：21市町村/目標値：18市町村)

●今後の取り組み予定  
県は、市町村への情報提供や「群馬県空き家利活用等推進協議会」等を通じた専門家団体を含めたワーキングの実施、「空家等対策計画作成の手引き」の提供などにより市町村の計画策定の支援に取り組む。

●指標における実績値の推移 [単位：市町村]

H28	H29(初期値)	H30	R1	R2	R3
—	16	21			
R4	R5	R6	R7	R8	R9



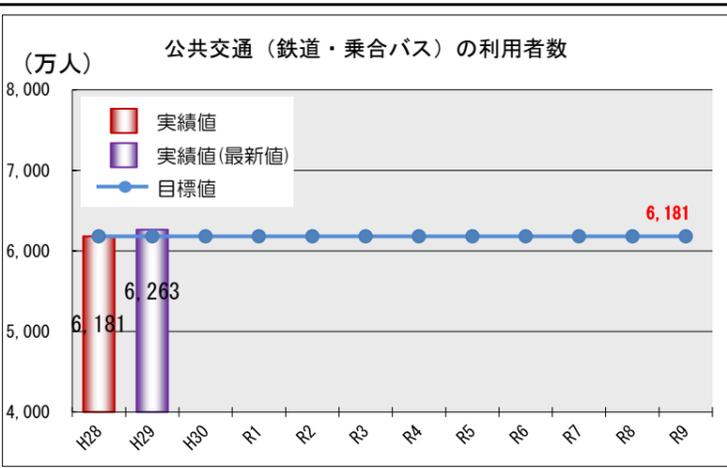
**指標 34 公共交通（鉄道・乗合バス）の利用者数**

●現在の状況及び課題  
乗車人員の過半数が通勤通学の定期利用だが、少子化が進み、高校生数が減少すると、このままでは、定期利用を中心とした公共交通利用者の大幅な減少が想定される。

●今後の取り組み予定  
自動車から公共交通への移動手段の転換を促し、公共交通利用者数を維持していくため、平成29年度に策定した「群馬県交通まちづくり戦略」に基づき、鉄道路線ごとのアクションプログラム策定や、交通系ICカード導入支援など、公共交通の強化・快適化に取り組む。

●指標における実績値の推移 [単位：万人]

H28(初期値)	H29	H30	R1	R2	R3
6,181	6,263				
R4	R5	R6	R7	R8	R9



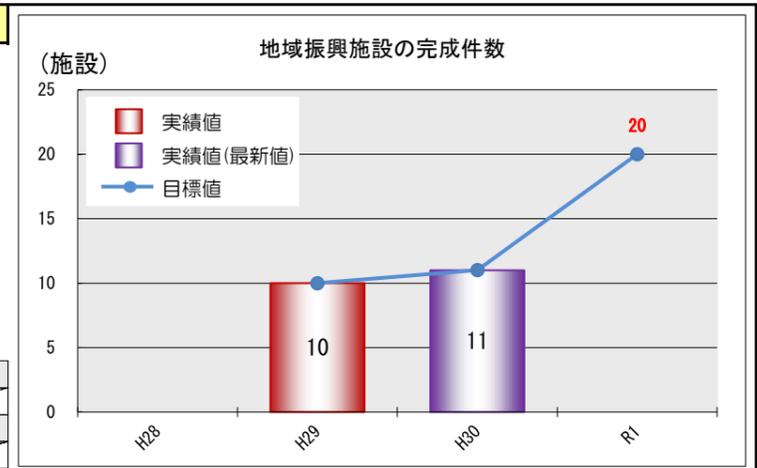
**指標 38 地域振興施設の完成件数**

●現在の状況及び課題  
平成30年度に「住民総合センター」が完成し、地域振興施設の完成件数は11件となった。残る施設は、先行するダム関連工事完成後の着手や建築資材の調達に時間を要する工事等であり、令和元年度完成に向け工程等の精査が必要である。

●今後の取り組み予定  
令和元年度の完成を目指し、工事実施主体である国、県、町が連携し情報共有を行うとともに、各発注者と施工業者間で、週1回の工程調整会議を行うなど工程の進捗管理を徹底する。

●指標における実績値の推移 [単位：施設]

H28	H29(初期値)	H30	R1	R2	R3
—	10	11			
R4	R5	R6	R7	R8	R9



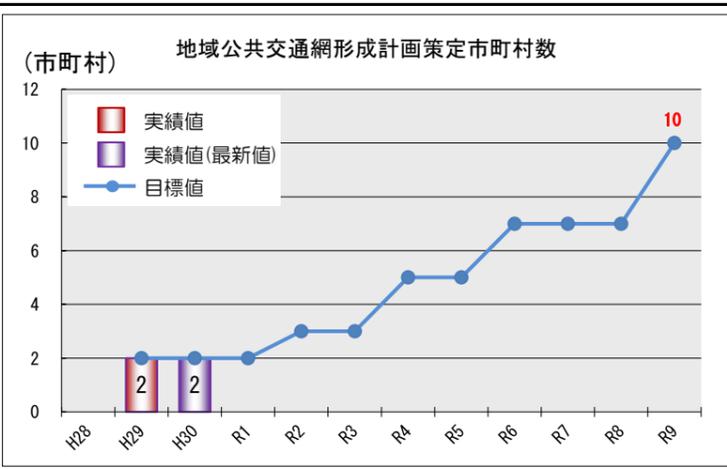
**指標 35 地域公共交通網形成計画策定市町村数**

●現在の状況及び課題  
平成29年度末における「地域公共交通網形成計画」策定市町村は、太田市（平成29年9月策定）及び前橋市（平成30年3月策定）の2市にとどまっている。

●今後の取り組み予定  
現在、館林市、渋川市、富岡市が計画策定に向けて作業中であることから、各協議会の場で、他の事例などを積極的に情報提供するなど、市町村の取組に対する支援を行い、市町村による計画策定の促進を図る。

●指標における実績値の推移 [単位：市町村]

H28	H29(初期値)	H30	R1	R2	R3
—	2	2			
R4	R5	R6	R7	R8	R9



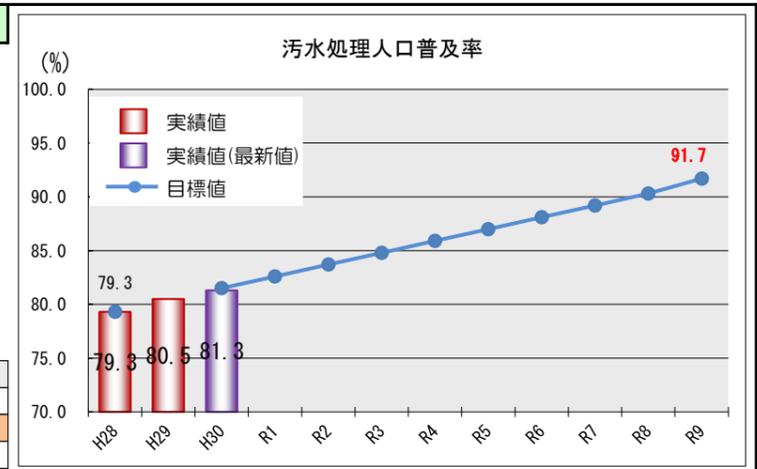
**指標 39 汚水処理人口普及率**

●現在の状況及び課題  
平成30年度末の汚水処理人口普及率は81.3%となり、昨年度末の80.5%から0.8ポイント向上したが、全国平均の91.4%に対して10ポイント以上遅れている状況である。

●今後の取り組み予定  
今後も、「群馬県汚水処理計画」に基づき、県と市町村の連携により、下水道等と合併処理浄化槽のベストミックス並びに汚水処理施設の統廃合を進め、汚水処理施設の建設コスト、維持管理コストの縮減を図るとともに、市町村への施設整備等に関する県費補助の活用促進を図る。

●指標における実績値の推移 [単位：%]

H28(初期値)	H29	H30	R1	R2	R3
79.3	80.5	81.3			
R4	R5	R6	R7	R8	R9



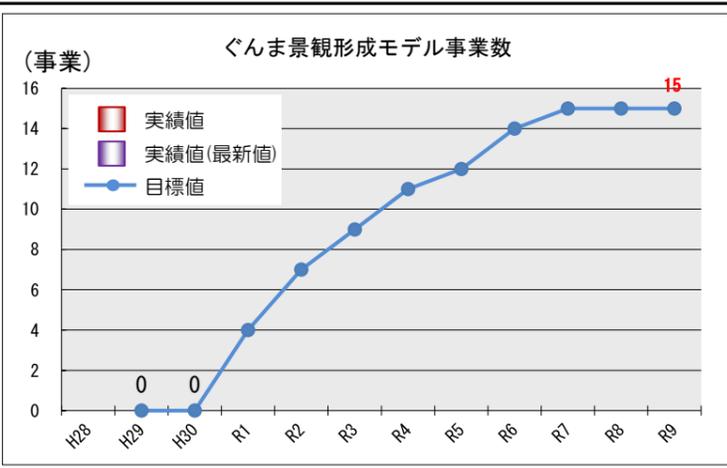
**指標 36 ぐんま景観形成モデル事業数**

●現在の状況及び課題  
「ぐんまの風景を魅せるインフラ整備」を推進するため、良好な景観形成に向けた考え方やポイントを示したチェックシートに基づき、モデル事業を40事業選定し、平成30年度は、10事業で計画を策定している。

●今後の取り組み予定  
今後は、モデル事業の実施を支援し、その進捗状況の把握に努めるとともに、完成したモデル事業の成果をとりまとめ、事業で工夫した景観に配慮したポイントを分かりやすくデータベース化を図り、県民や職員へ広くPRする。

●指標における実績値の推移 [単位：事業]

H28	H29(初期値)	H30	R1	R2	R3
—	0	0			
R4	R5	R6	R7	R8	R9



**指標 40 建設発生土有効利用率**

●現在の状況及び課題  
建設発生土は、場外搬出量が搬入土砂利用量の2倍以上となっており、有効利用ができていない。このため、工事間流用の促進に向け、ストックヤードを整備し前橋地区で運営している。また、平成29年度から、民間受入地の公募の試行を開始した。

●今後の取り組み予定  
今後は、民間事業者と連携した工事間利用調整や、工事間利用できない建設発生土の適正な処理等を促進するため、他の地域における新たなストックヤードの整備・運用に向けた検討を進める。

●指標における実績値の推移 [単位：%]

H28	H29(初期値)	H30	R1	R2	R3
—	—				
R4	R5	R6	R7	R8	R9

